

## 第37回品質保証検討会 議事録

1.日時：平成25年9月11日（金）13時30分～17時30分

2.場所：（一社）日本電気協会 4階A,B会議室

3.出席者

出席委員：鈴木主査(中部電力)，秋吉副主査（関西電力），新井（三菱原子燃料），植木（原子燃料工業），大谷（三菱電機），岡部（IHI），近藤（リサイクル燃料貯蔵），齋藤（西日本技術開発），佐藤（日本原子力発電），島津（北海道電力），辰巳（北陸電力），筒井（九州電力），手束（四国電力），中村（日本原燃），長谷川（電源開発），原田（中国電力），渡邊（JANSI），渡辺（JNES），深堀（GNF-J），芝原(日立GE)，新田(富士電機)

(計21名)

代理委員：後藤（東北電力 笹原），谷（東芝 佐藤），村上（JANSI 森）松山（MHI 徳久），岩田(JAEA 山内)

(計5名)

欠席委員：

(計0名)

常時参加者：大田（東京電力），早川（JNES）

(計2名)

オブザーバ：及川（東京電力）

(計2名)

事務局：富澤（日本電気協会）

(計1名)

4. 配付資料

資料 37-1 品質保証検討会 委員名簿

資料 37-2 第36回品質保証検討会 議事録案

資料 37-3 JEAC4111「原子力安全のためのマネジメントシステム規程」改定案  
書面投票[H25/6/19～H25/7/9に対する回答（案）]

資料 37-4 JEAG4121-2009「原子力発電所における安全のための品質保証規程（JEAC4111-2009）の適用指針」[201X年追補版]（品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書の内容の充実）制定案（中間報告）

資料 37-5 原子力規格委員会上程版(6/18)と再上程版(9/30)との比較表

資料 37-6 原子力安全のためのマネジメントシステム規程（案）

資料 37-7-1 原子力発電所における安全のための品質保証規程（JEAC4111-2009）の適用指針（原子力規格委員会上程版 標準品質保証仕様書改定案 2013年9月30日）

資料 37-7-2 JEAG4121-2009【2013追補版】附属書-1 品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書改定案新旧比較表

資料 37-8 原子力安全のためのマネジメントシステム規程 JEAC4111-201X（案）改定内容に係る特別講習会アンケート結果

参考資料-1 「品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書」：JEAG4121-2009 附属書1 中間報告案からの変更について

参考資料-2 平成25年度 JEAC 4111 講習会等 スケジュール（案）

参考資料-3 平成25年度 コースIV ワークショップ（12/16）方針案

5. 議事

(1)配付資料確認，定足数確認

鈴木主査による代理委員3名の承認の後，事務局より，代理委員を含め委員27名中26名出席であり，議案決議に必要な定足数（委員の3分の2以上＝18名以上が出席）を満たしていることが報告された。

(2)委員交代確認，常時参加者・オブザーバ承認

事務局より，資料37-1に基づき，交代委員等について説明があった。

佐藤委員（榊東芝）が退任し、これまで常時参加者であった谷氏と交代することとなった。

また、オブザーバ1名については、主査の承認を得た。

さらに、これまで登録されていた森委員から村上委員に交代連絡済であることが委員より説明がなされ、新委員候補として委員名簿を事務局が改定しておくこととなった。

なお、新委員候補者については、分科会に上程し承認頂くこととする。

### (3)副主査の指名

主査より、秋吉委員を副主査として指名された。

### (4)前回議事録の確認

事務局より、資料 37-2 に基づき、前回議事録(案)について主査より説明があり、一部コメントを削除し正式議事録とすることについて、委員の確認を得た。

### (5) JEAC4111 「原子力安全のためのマネジメントシステム規程」改定案書面投票[H25/6/19～H25/7/9]に対する回答（案）

委員より、資料資料37-3, 4に基づき、書面投票コメントに対する回答について説明された。なお、本件は9月30日の原子力規格委員会で審議される予定である旨補足された。

[主な意見]

特になし

### (6) 原子力規格委員会上程版(6/18)と再上程版(9/30)との比較表

委員より、資料資料 37-5 に基づき、原子力規格委員会上程版(6/18)と再上程版(9/30)との比較表について説明された。

[主な意見]

- ・規制庁とのチーム会合において、1点目はPSRの件については、PSRを廃止して最終的には安全性向上評価制度に取り込むことが決定されたが、法改正は12月までに法改正し施行する予定であり、実用炉則の77条を削除し、99条に6条文を追加する方向である。今回の規程の改正版が発行される時点では法改正、施行がなされている。この扱いをどうするか検討して頂きたい。
- 2点目は、先程の解説の中に技術基準による改正を取り込んでいるが、今後JEAC4111の改正案が成立しエンドースがなされた時の技術審査において、解説にはあるが本文には記載がないということで良いのかということについて、規制制度の検討チーム会合では懸念を示されている。今後のエンドース申請がなされる場合には対応できるようにする必要があると考えられる。
- なお、若干修正したほうが良いと思われる点は、「3. 定義」ではJIS9000と文言の整合が必要、「3.4購買」については、JIS9000では定義がない。
- 比較表の6/53ページの「4.1一般事項」の(1)において、技術基準の記述と同じように規定しているが、「活動を行う仕組み」と記述しても妥当ではないかと考えている。
- ・他の個所も同じように規定しているのか？
- 技術基準では「管理監督する仕組み」と記述されており、この記述を反映している。
- ・7.3.3の設計開発の検証は検討した結果、技術基準の記述と整合が図られていると考えている。
- 技術基準を踏まえ、この改定案では十分読み取れると解釈しており、また、エンドースが行われる場合でも十分説明できると考えている。
- ・キチンと説明できるようであれば良いが、エンドースの時には変更の必要が出てくるかもしれない。
- そういう観点からすると、本文の説明責任と品質マニュアルの点については残っていると考えている。

- 条件付きのエンドースという方法もあるかと思う。
- 今後エンドースして頂ける時に支障がないような記述としている。
  - ・技術基準との整合という観点から、考え方は同じであるが、キーワードは整合化しておく必要があるのではないかと考えている。
- 規格委員会の後に再度確認し、明らかに技術基準との整合で反映されていない点は今回反映している。ただし、7.3.5設計検証、7.4.2調達要求事項については、意味は同じであるが記述の違うことを解説に記載している。
- 前項も含め、7.5.3の識別及びトレーサビリティについても同様であるが、全体チームで検討し、説明できるとの検討結果を踏まえこのような改定案としている。
- 比較表のP49の(3)マネジメントシステムにおけるリーダーシップの位置付けの記載のうち、マネージャー（技術基準における各階層の管理者）に記載は、「技術基準における」を削除する。
  - ・P19の（PSR）については、PSRを含めた他の評価も含めて解釈が可能なように「原子炉施設の安全性向上のための評価」という表現に改めることが適切である。
- 前項を改めるとともに、P17の内部監査の分も修文する。
- P23のガイドラインを最新日付に修正する。
- 本改定案について、挙手により採択した結果、賛成26名、保留1名の結果となった。

(7) JEAG4121-2009[2013年追補版]附属書-1 品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書改定案新旧表

委員より、資料 37-7-1及び資料 37-7-2に基づき、中間報告書案からの変更点と改定理由を説明した。

[主な意見]

- ・P14の7.2.1の「記録」の表現は、技術基準では「記録した文書」であり食い違いがある。
- 記録した文書とは、を記載する。

●本改定案について、挙手により採択した結果、賛成26名、保留1名の結果となった。

(8) 原子力安全のためのマネジメントシステム規程JEAC4111-201X（案）改定内容に係る特別講習会アンケート結果

委員より、資料 37-8に基づき、特別講習会アンケート結果を説明した。

[主な意見]

- ・質問者に対し意味のある回答とそうでないものを分ける必要がある。
- 本件については、集計者から別途回答する。
- 関西地区での開催の要望が出されたが、90名以上の参加が見込めないと採算が合わないため、開催しないこととする。

(9)その他

①平成25年度 JEAC 4111講習会等 スケジュール（案）

委員より、参考資料 2に基づき、JEAC 4111講習会等 スケジュール（案）を説明した。

[主な意見]

- ・JEAC改定講習会の開催を計画すること。
- 本件については、WGを開催し日付等を検討することとし、場所は電気協会を検討する。

②平成25年度 コースⅣ ワークショップ(12/16)方針案

委員より、参考資料 3に基づき、コースⅣ ワークショップ(12/16)方針案について説明がなされた。

[主な意見]

特になし

以上